

# 修

シユウ・シユ  
おさめる・お  
さめる

5 年

10画  
イ 亻 攴 攴 攴 攴

なりたち 人の背中を洗い流すことを表した仮と美しい意味の多との会意形声字。汚れをおとして美しくする意味の字で、人が字問を「おさめ」、欠点を改めること。



いみじゆく  
美しく飾り整える。  
修飾：①美しく飾りつくり出すこと。②ある語にかかつて、その意味・内容をくわしく説明したり、限定したりすること。[用例]彼の語には修飾が続く体言や用言を修飾する語。

つくり直す。  
修理：機械などの故障をなおすこと。[用例]修理工。  
おさめる。学んで身につける。

修養：学問などをおさめ、行いを正して立派な人間になること。[用例]修養を積む。  
書物を編集する。  
監修：書物を編集するのを監督すること。

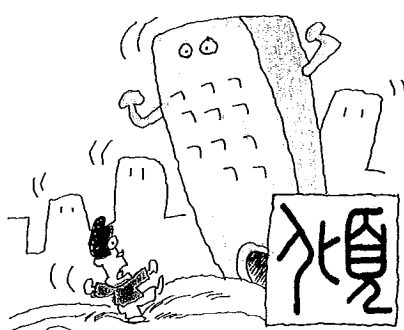
よみかた 修業・修正・修繕・修道院・修練・改修・必修

# 傾

おん ケイ  
かたむく・か  
たむける

13画  
イ 亻 化 傾 傾 傾

なりたち 人が倒れた形のヒと、頭の形と人との会意字。頭がたれることを表した字で、頭が「かたむく」こと。転じて「あやうくなる・おとろえる」意味に使われる。



いみじゆく  
かたむく。かたむける。  
傾斜：かたむいて、ななめになること。  
右傾：右に傾くこと。特に政治的な見解が保守的・国粹的に傾くこと。[反]左傾

心が深く傾きひかれること。  
傾倒：心から尊敬し、慕うこと。[用例]漱石(せうせき)に傾倒する。

傾聴：耳をかたむけて熱心に聞くこと。[用例]傾聴に値する名講義。  
事(こと)のなりゆき。  
傾向：多くの行動・現象の中から認められる、一定の方向への傾き。[用例]増加の傾向にある。



よみかた 傾注・左傾

## 傾倒

# 悠

ユウ  
悠々

11画  
イ 亻 攴 攴 攴 攴

なりたち 背中を洗い流すことを行水というが、行水は流れ行く水の意味でもある。はるか遠く流れ行くさまを仮(ゆ)として、悠は心を遠いかなたとの会意形声字。



いみじゆく

はるか。遠い。  
悠遠：時間的・空間的に、はるかに遠いこと。[用例]悠遠の宇宙のあなたには幾千万の星がきらめいている。

悠久：年月が長く美しいこと。永遠。[用例]悠久の大自然。  
悠揚：おちついて、ゆったりとしている様子。  
悠長：のんびりして、気が長いこと。[用例]悠長な事を言っている場合ではない。

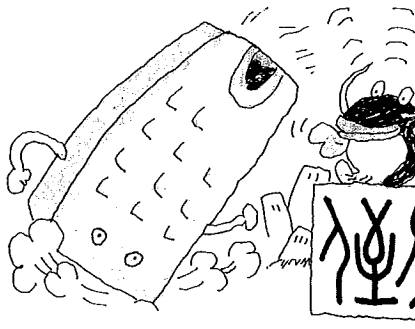
悠揚：ゆったりとおちついてい様子。[用例]悠揚せまらぬ態度。

# 倒

おん トウ  
たおれる・た  
おす

10画  
イ 亻 佀 佀 佀 倒

なりたち 鳥が逆さになった形の至と人、発音を示すリ(刀)との会意形声字。人が頭を下に「たおれる」ことを表した字。また、「さかさま」の意味。



いみじゆく

さかさま。  
倒立：さか立ち。  
倒置法：文法で、文意を強めたり、語調を整えたりするために、語句の順番を入れ替えること。

たおれる。たおす。  
倒壊：ひっくり返ること。  
[用例]気も転倒して、どうしたら良いかわからなかった。

倒壊：倒れて壊れること。  
[用例]家屋が地震で倒壊した。  
程度や動作がはなはだしいことを表す語。  
圧倒：段違いにすぐれた力で相手を打ち負かすこと。  
[用例]圧倒的な大差で勝った。  
絶倒：喜怒哀楽の情が極度に高まることから、特に笑いくずれることをいう。[用例]抱腹絶倒

よみかた 七転八倒・辛倒